

3. 国民健康保険特別会計

(1) 収支の概要について

本年度の予算現額は8,093,005千円であり、前年度の予算現額と比較すると19,116千円（0.2%）減少している。

また、決算額は歳入で7,781,621千円（増減率0.3%）、歳出で7,600,750千円（増減率0.6%）で差し引き180,871千円の黒字となっており、本年度実質収支額から前年度実質収支額205,815千円を差し引いた単年度収支額は24,944千円の赤字となっている。

決算状況比較表

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	3	2	増 減 額	増 減 率（％）
予 算 現 額	8,093,005	8,112,121	-19,116	-0.2
歳 入 決 算 額	7,781,621	7,758,170	23,451	0.3
歳 出 決 算 額	7,600,750	7,552,355	48,395	0.6
歳 入 歳 出 差 引 額	180,871	205,815	-24,944	-12.1
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支 額	180,871	205,815	-24,944	-12.1
単 年 度 収 支 額	-24,944	-12,617	-12,327	-97.7

(2) 歳入の概要について

決算額の予算現額に対する比率は96.2%で前年度の95.6%より0.6%上昇している。

また、調定額に対する比率は98.1%で前年度の97.6%より0.5%上昇している。

決算額の主な内訳は、府支出金5,220,191千円（構成比67.1%）、国民健康保険料1,571,609千円（20.2%）、繰入金732,952千円（9.4%）、繰越金205,814千円（2.6%）、諸収入30,759千円（0.4%）等となっている。

歳入状況一覧表

科目	区分		調定額		
	予算	現額	金額	構成比	調定額に対する比率
	金額	構成比	金額	構成比	調定額に対する比率
		%		%	%
国民健康保険料	1,580,765	19.5	1,718,540	21.7	108.7
使用料及び手数料	300	0.0	399	0.0	133.0
府支出金	5,628,025	69.6	5,220,191	65.8	92.8
財産収入	306	0.0	278	0.0	90.8
繰入金	754,268	9.3	732,952	9.3	97.2
諸収入	26,341	0.3	33,264	0.4	126.3
繰越金	103,000	1.3	205,814	2.6	199.8
国庫支出金	0	-	19,619	0.2	皆増
合計	8,093,005	100.0	7,931,057	100.0	98.0

更に決算額を分析すると、歳入決算額7,781,621千円は前年度より23,451千円（0.3%）増加している。

その内容は、府支出金で60,089千円（1.2%）、繰入金で10,264千円（1.4%）それぞれ増加している。

一方、国民健康保険料で7,513千円（0.5%）、使用料及び手数料で34千円（7.9%）、国庫支出金で25,160千円（56.2%）、財産収入で101千円（26.6%）、諸収入で1,476千円（4.6%）、繰越金で12,618千円（5.8%）減少している。

国民健康保険の被保険者数は13,949人で、加入世帯数は9,113世帯となっており、前年度の被保険者数14,315人、加入世帯数9,257世帯と比べ、被保険者数で366人、世帯数で144世帯といずれも減少している。

保険料の収入済額の調定額に対する比率は91.4%で前年度の89.1%より2.3%上昇している。

不納欠損額は15,028千円で前年度21,011千円に比べ金額で5,983千円減少している。

(単位:千円)

収入済額				不納欠損額		収入未済額	
金額	構成比	予算現額に対する比率	調定額に対する比率	金額	調定額に対する比率	金額	調定額に対する比率
	%	%	%		%		%
1,571,609	20.2	99.4	91.4	14,687	0.9	132,244	7.7
399	0.0	133.0	100.0	0	0.0	0	0.0
5,220,191	67.1	92.8	100.0	0	0.0	0	0.0
278	0.0	90.8	100.0	0	0.0	0	0.0
732,952	9.4	97.2	100.0	0	0.0	0	0.0
30,759	0.4	116.8	92.5	341	1.0	2,164	6.5
205,814	2.6	199.8	100.0	0	0.0	0	0.0
19,619	0.3	皆増	100.0	0	0.0	0	0.0
7,781,621	100.0	96.2	98.1	15,028	0.2	134,408	1.7

(3) 歳出の概要について

決算額の予算現額に対する比率は93.9%で前年度の93.1%より0.8%増加している。

また、不用額は492,255千円で前年度に比べて67,511千円減少しており、不用額の予算現額に対する比率は6.1%で前年度の6.9%より0.8%減少している。

決算額の内訳は、保険給付費5,049,773千円（構成比66.4%）、国民健康保険事業費納付金2,250,452千円（29.6%）、総務費214,529千円（2.8%）、保健事業費65,222千円（0.9%）、諸支出金20,774千円（0.3%）となっている。

歳出状況一覧表

(単位:千円)

区 分 科 目	予 算 現 額		支 出 済 額			翌 年 度 繰 越 額			不 用 額		
	金額	構成比	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率
		%		%	%		%	%		%	%
総 務 費	226,543	2.8	214,529	2.8	94.7	0	-	0.0	12,014	2.4	5.3
保 険 給 付 費	5,464,873	67.5	5,049,773	66.4	92.4	0	-	0.0	415,100	84.3	7.6
国 民 健 康 保 険 事 業 費 納 付 金	2,250,455	27.8	2,250,452	29.6	100.0	0	-	0.0	3	0.0	0.0
保 健 事 業 費	82,152	1.0	65,222	0.9	79.4	0	-	0.0	16,930	3.5	20.6
公 債 費	100	0.0	0	0.0	0.0	0	-	0.0	100	0.0	100.0
諸 支 出 金	23,200	0.3	20,774	0.3	89.5	0	-	0.0	2,426	0.5	10.5
予 備 費	45,682	0.6	0	0.0	0.0	0	-	0.0	45,682	9.3	100.0
合 計	8,093,005	100.0	7,600,750	100.0	93.9	0	-	0.0	492,255	100.0	6.1

決算額を前年度と比較すると48,395千円（0.6%）増加している。

その内容は、保険給付費で10,065千円（0.2%）、国民健康保険事業費納付金で34,234千円（1.5%）、保健事業費で3,874千円（6.3%）、諸支出金で12,275千円（144.4%）それぞれ増加し、総務費で12,053千円（5.3%）減少している。

科目別年度比較表

（単位：千円）

区 分 科 目	3 年 度		2 年 度		増 減 額	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
		%		%		%
総 務 費	214,529	2.8	226,582	3.0	-12,053	-5.3
保 険 給 付 費	5,049,773	66.4	5,039,708	66.8	10,065	0.2
国 民 健 康 保 険 事 業 費 納 付 金	2,250,452	29.6	2,216,218	29.3	34,234	1.5
保 健 事 業 費	65,222	0.9	61,348	0.8	3,874	6.3
諸 支 出 金	20,774	0.3	8,499	0.1	12,275	144.4
合 計	7,600,750	100.0	7,552,355	100.0	48,395	0.6

(4) むすび

本年度の決算は実質収支で 108,871 千円の黒字で、単年度収支においては 24,944 千円の赤字となっている。実質収支において黒字となった要因としては、歳入において府支出金、繰入金が増加した一方で、歳出において総務費が減少したことによるものである。なお、歳入のうち 728,345 千円は一般会計からの繰入である。

また、前年度に比べて保険料の収納額は減少しているが、保険料収納率については、前年度比 2.4%の上昇となった。本年度は前年度に比べて保険給付費が増加しており、疾病予防、健康管理に関する事業を継続して推進し保険給付費を抑制する施策が必要である。

また、収入未済額については、不納欠損額は前年より減少しており、徴収努力がうかがわれる。新型コロナウイルス感染症の状況下ではあるが引き続き徴収業務に努めていただきたい。

保険料収納率は前年度から上昇しているが、今後とも滞納保険料等の収納率を高める曽力をしていただき、国民健康保険特別会計の健全化を図っていただくよう望むものである。